

桜区 平成26年度 区運営方針

1. 主な現状と課題

桜区の将来像である「三世代がつくる元気印のまち」は、子どもから高齢者までの全ての区民が生き生きと活動できるまちであり、区の基本理念となるものです。その実現のためには、地域の自然資源、歴史・文化資源をまちづくりに活用するとともに住環境の整備を進めていくことが大切です。

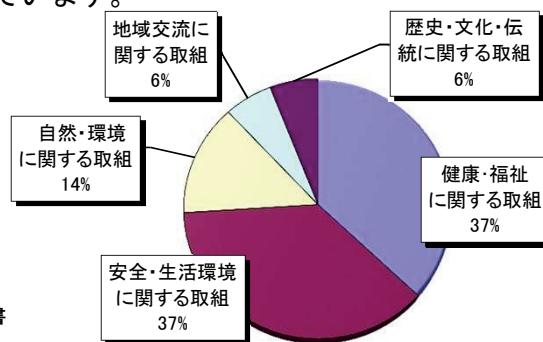
区民へのアンケート調査では、今後重点的な取組を望む分野として、「健康・福祉」「安全・生活環境」でポイントが高い傾向にあります（下図参照）、区としての魅力をさらに高めるには「自然・環境」「歴史・文化」「地域交流」の分野での取組も大切であり、これらの施策をバランス良く、相乗効果が得られるよう推進していくことが重要です。

桜区では主要な取組事項として「心に文化を育むまちづくり」「健康でやさしく支えあうまちづくり」「安全に安心して暮らせるまちづくり」「環境にやさしいまちづくり」「信頼され親しまれる区役所づくり」の5つの柱を掲げ、地域の人々と行政が協働し基本理念の実現に取り組んでいます。

区民が重点的な取組を望む分野

取組分野	要望割合
健康・福祉に関する取組	37%
安全・生活環境に関する取組	37%
自然・環境に関する取組	14%
地域交流に関する取組	6%
歴史・文化・伝統に関する取組	6%

資料：平成24年度 桜区 区長マニフェスト評価書



(1) 心に文化を育むまちづくり

一人ひとりがしあわせを実感するには、若い世代から高齢者までの幅広い世代の区民が様々な機会交流し、互いのコミュニケーションを深めていくことが重要です。

桜区ではこれまで「区民ふれあいまつり」や「区民ふれあいコンサート」などの事業を実施し、区民と区民のふれあいの場を醸成してきましたが、今後もこうした事業を継続し、地域コミュニティの醸成を図っていくことが、まちづくりの重要な施策として求められています。

さらに区内にある国立大学法人埼玉大学は、地域の知的財産であり、同大学の教授による講演会などを通じて区民と大学との交流を促進していくことが必要です。

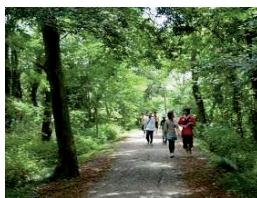


区民ふれあいまつり



区民ふれあいコンサート

(2) 健康でやさしく支えあうまちづくり



桜区再発見
ウォーキングフェスタ



子育てフェア

桜区では、平成25年度に区制施行10周年記念事業として「桜区再発見ウォーキングフェスタ」を開催し、普段見過ごしがちな桜区の地域資源をウォーキングを通じて再発見するイベントを行いました。今後も区民が楽しみながら健康づくりに取り組めるような機会の創出が求められています。

また、子どもの孤食・食文化伝承の希薄化が問題となる中で、家族との繋がりを感じながら共に食事をする体験や地域で栽培される野菜を広く知ってもらう等の「食育」の普及啓発をしていくことが大切です。

さらに、核家族化が進む中で、未就学児を持つ子育て家庭においては、育児疲れや育児ストレスを抱えている保護者が増加しています。子育てについてのイベントなどを通じて、親子の絆を深める機会をつくと同時に保護者同士の情報交換の促進が大切です。

(3) 安全に安心して暮らせるまちづくり

東日本大震災の経験から、地域の防災力の向上や家庭において防災意識を高めていくことの大切さが強く認識されています。日頃から地震や風水害などの非常時に的確に対応できるよう専門家を招いた防災に関する講演会などの実施が求められています。

また、児童の交通安全対策のため、保護者や警察の協力により地域で危険度が高い場所の情報を収集し、ヒヤリハットマップ（危険地図）を作成して児童に配布するなど防犯への取組が必要とされています。

さらに、道路の緊急修繕や照明灯・反射鏡の修繕は、生活環境の維持に不可欠なものであり、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。



防災講演会



ヒヤリハットマップ

(4) 環境にやさしいまちづくり

自然と調和し、生活環境の整った、やすらぎのあるまちを実現するため、区民がより一層花と緑にふれあえる機会を創出するとともに、区民との協働による「花と緑があふれるまちづくり」が求められています。

また、環境美化に対する一人ひとりの意識の向上と、地域の人々と行政が協働で取り組むごみの減量化・リサイクルの推進が求められています。



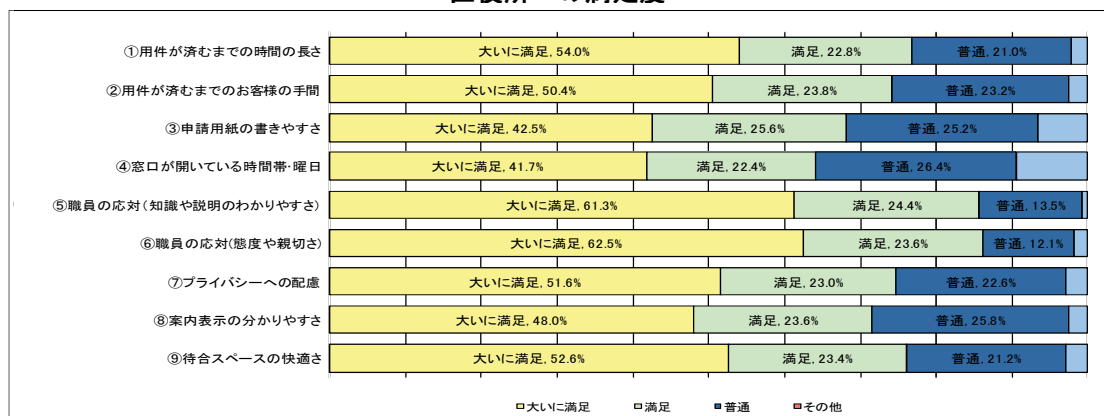
花の植栽風景

(5) 信頼され親しまれる区役所づくり

職員一人ひとりが、区民の皆様身近な区役所の顔としての自覚と責任感を常に持ち続けていることが大切です。

区民に信頼され親しまれる区役所を目指すため、様々な研修を行い、職員が丸となって区民満足度を向上させるよう取り組みます。

区役所への満足度



資料：平成24年度 「桜区区民満足度アンケート」

2. 基本方針・区分別主要事業

区の将来像である「三世代がつくる元気印のまち」を基本理念とし、一人ひとりがしあわせを実感できるまちを実現するため、地域交流、安全・生活環境、健康・福祉の推進等に取り組んでいきます。

(1) 心に文化を育むまちづくりを推進します。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1		桜区区民ふれあいまつり事業 〔コミュニティ課〕	6,800 (6,800)	6,800 (6,800)	地域コミュニティの醸成・活性化と地域のまちづくりを図るため、桜区区民ふれあいまつりを開催
2		桜区区民ふれあいコンサート事業 〔コミュニティ課〕	920 (920)	1,707 (1,707)	音楽を通じて区民相互の交流を推進し、明るく豊かなコミュニティの醸成を図るため、桜区ふれあいコンサートを開催
3		埼玉大学との交流事業 〔コミュニティ課〕	147 (147)	146 (146)	地域の知的財産である埼玉大学と区民との交流を促進
4		区の花サクラソウ活用事業 〔コミュニティ課〕	484 (484)	292 (292)	桜区の花「サクラソウ」の啓発・活用

(2) 健康でやさしく支えあうまちづくりを推進します。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
5	新倍	桜区再発見ウォーキング事業 〔コミュニティ課〕	287 (287)	0 (0)	区内のウォーキングコースを歩きながら、区内の文化資源等を再発見するイベントを開催
6	新	桜区食文化伝承事業 〔コミュニティ課〕	302 (302)	0 (0)	桜区の食文化を伝承する料理教室の開催や地元農産物の直売を実施
7	新	ごちそう☆桜区レストラン 〔保健センター〕	164 (164)	0 (0)	地元食材である五関菜を利用した食育講座を実施
8		桜区子育てフェア 〔支援課〕	1,336 (1,336)	1,300 (1,300)	育児疲れや育児ストレスを抱える子育て家庭を支援するため桜区子育てフェアを開催

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業
行…行財政改革推進プラン2013事業

(3) 安全に安心して暮らせるまちづくりを推進します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
9		土木緊急修繕等事業 〔くらし応援室〕	91,976 (91,976)	90,371 (90,371)	身近な生活環境を保持するための道路、河川の緊急的な修繕を実施
10		交通安全施設維持管理事業 〔くらし応援室〕	35,103 (35,103)	34,896 (34,896)	身近な生活環境を保持するための道路照明、道路反射鏡、路面標示の修繕を実施
11		交通安全啓発事業 〔くらし応援室〕	1,886 (1,886)	1,935 (1,935)	交通ルールの普及・浸透を図るとともに、交通事故を防止するための交通指導員活動の支援、ヒヤリハットマップの作成等を実施
12		桜区防災講演会事業 〔総務課〕	162 (162)	66 (66)	地震や風水害などの災害に対する備えの重要性を啓発するため、桜区防災講演会を開催

(4) 環境にやさしいまちづくりを推進します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
13		桜区花と緑ふれあい事業 〔コミュニティ課〕	1,869 (1,869)	1,709 (1,709)	区民が花と緑にふれあう機会を創出するため区民サポーター等との協働により区役所周辺等の緑化を実施
14		桜区クリーン活動 〔コミュニティ課〕	618 (618)	430 (430)	桜区の木「サクラ」の開花前に、ゴミのない桜区をPRするため、区民と協力して、区内のクリーン活動を実施

(5) 信頼され親しまれる区役所づくりに取り組みます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
15		区長マニフェスト・評価書の作成 〔総務課〕	155 (155)	338 (338)	桜区の個性を生かしたまちづくりを推進するため区長マニフェスト・評価書を作成
16		区民会議運営事業 〔コミュニティ課〕	438 (438)	449 (449)	地域の諸課題等について協議し、区長に提言する区民会議を運営

3. 平成26年度予算案における見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
コミュニティ課	桜区区民ふれあいコンサート(ホール開催)の見直し	さくらホールでのコンサート開催回数を見直す一方、ロビーコンサートを充実させることにより関連事業全体としてコストの削減を図る	△ 787
コミュニティ課	桜区プチマルシェ事業の廃止	地元の食文化を伝えること、また親子(三世代)のふれあいを図ることを主眼に内容を再構成し、平成26年度からは「桜区食文化伝承事業」として実施する これにより関連事業全体のコスト削減を図る	△ 225